

匠瑛市地区別防災カルテ 地区名：平和地区

1. 対象となる町丁区（地区面積 約8.28km²）

小字名	世帯総数	総人口	男人口	女人口	1世帯あたり人員	備考
平木	587世帯	1,717人	870人	847人	2.9人/世帯	
川向	15世帯	44人	23人	21人	2.9人/世帯	
東谷	250世帯	750人	369人	381人	3.0人/世帯	
上谷中	572世帯	1,416人	713人	703人	2.5人/世帯	
荻野	30世帯	111人	51人	60人	3.7人/世帯	
合計	1,454世帯	4,038人	2,026人	2,012人	2.8人/世帯	住民基本台帳 H25.4.1現在

2. 居住者に関する指標：児童人口 0歳～14歳 労働人口 15歳～64歳 高齢者人口 65歳以上

地区	人口	4,038人
人口密度	487.7人/km ²	
世帯密度	175.6世帯/km ²	
年少人口（児童人口）	531人	13.2%
労働者人口（労働人口）	2,447人	60.6%
老年人口（高齢者人口）	1,060人	26.3%
総人口	4,038人	
高齢化率	26.3%	
要援護者台帳登録者数	116人	
要援護者支援者登録者数	171人	
支援者がいない要援護者の数	8人	
支援者がいない要援護者の割合	6.9%	

3. 公園

公園名称	種別	供用面積	公園名称	種別	供用面積
平和東公園	都市公園	6,374m ²			

4. 危険箇所、危険物施設の現況：土砂災害警戒区域、急傾斜地崩壊危険区域、土砂災害危険箇所、河川・津波浸水被害想定区域・危険物施設等

1 危険物施設等		
屋外タンク貯蔵所・屋内タンク貯蔵所・地下タンク貯蔵所・移動タンク貯蔵所	7箇所	
給油取扱所・一般取扱所	6箇所	
その他：		

5. 避難所・避難場所

名称	所在地	電話番号
指定避難所（一次避難所）		
平和小学校	平木1819番地	72-0414
八日市場第一中学校	上谷中2270番地5	72-1185
指定避難所（一次避難所）数 2箇所		
指定避難所（二次避難所）		
指定緊急避難場所		
平和東公園	平木1487番地1	なし
八日市場特別支援学校	平木930番地1	72-2777
市営グラウンド	上谷中2240番地8	なし
指定緊急避難場所数 3箇所		

※全ての「指定避難所（一次避難所）」が「指定緊急避難場所」を兼ねています。

6. 医療機関

医療機関名	所在地	電話番号	診療科目
小高歯科医院	上谷中1871番地1	73-5580	歯科

7. 建物の状況：総数については建築年不明を含む
内訳数については建築年が判明しているもののみ集計

構造	総数	S56年6月以前	～H12年6月	～H25年3月
木造	2,652	947	960	264
非木造	1-2F	500	233	188
	3-5F	4	2	0
	6F以上	0	0	0
総数	3,156	1,182	1,150	306

8. 既往災害の履歴：（平成23年3月11日の東日本大震災～） H28.1月現在

時期	事項
H23.3.11	東日本大震災 住家 半壊（1棟） 一部損壊（107棟） 非住家 全壊（1棟） 一部損壊（23棟） 損壊建物の内、1棟に液状化被害が発生
H23.9.21	大雨・洪水・暴風・波浪警報 停電（平木・上谷中・東谷の一部）
H25.4.6	暴風・波浪警報 停電（平木の一部）
H25.10.15・16	台風26号 住家の一部損壊（2棟） がけ崩れ・土砂崩落（1件） 冠水（2件）
H25.10.20	大雨警報 冠水（上谷中 2件）
H26.10.5・6	台風18号 道路への倒木（1件） 停電（上谷中・平木の一部）
H26.10.13・14	台風19号 停電（上谷中・平木の一部）
H27.10.1	暴風警報 停電（平木・上谷中・東谷・荻野・川向の一部）

9. 防災上の課題・留意事項等

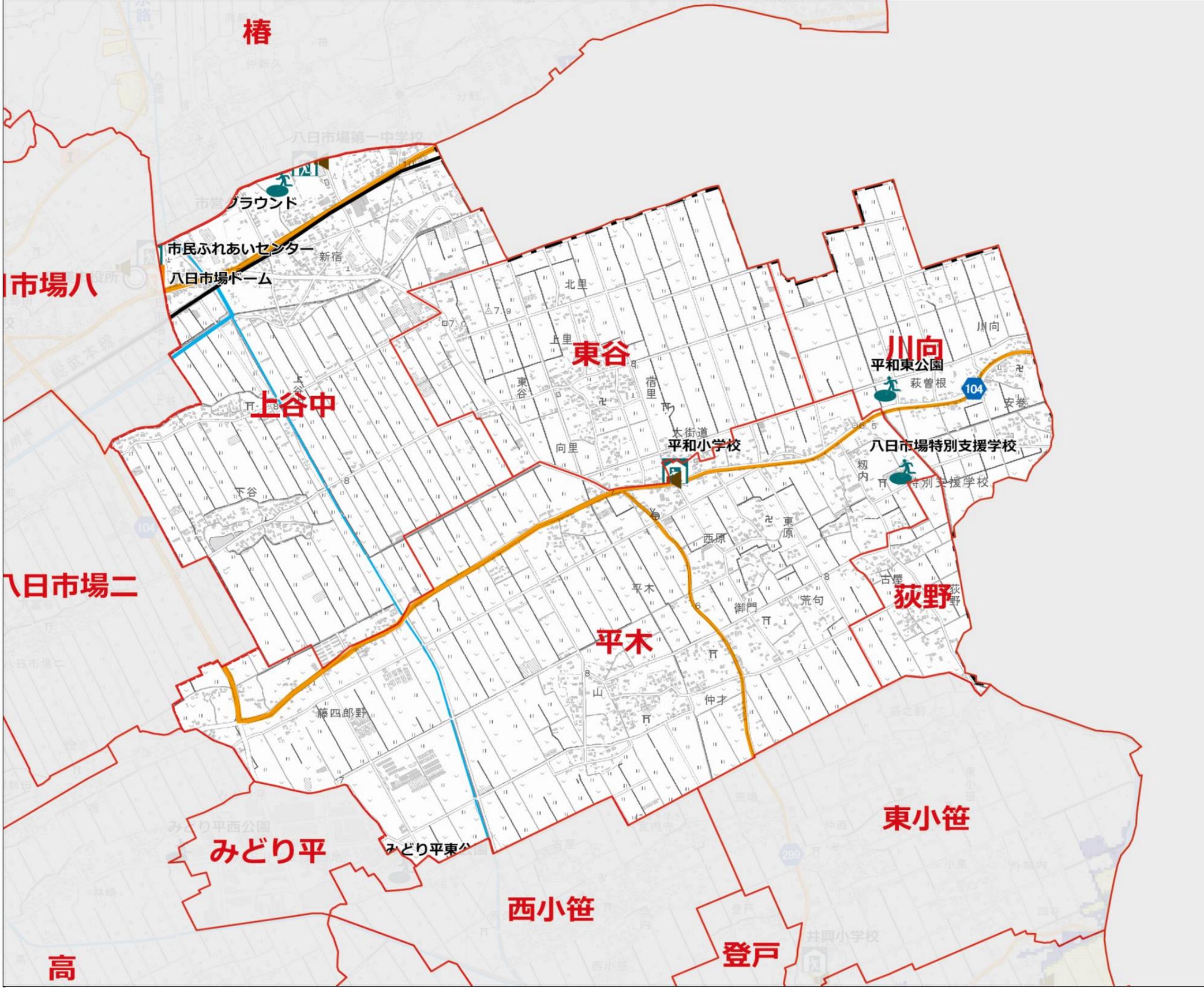
【防災上の課題】

- 平和地区は集落が分散しているため、避難所・避難場所まで距離がある集落については自主防災会等で安全な箇所を確認しておくことが重要である。
- 東日本大震災において、建物の損壊があったため、建物の耐震化や室内における強い揺れへの対策を行うとともに発災時の避難行動等について確認しておくことが重要である。
- 市の東南東に位置し、平地が中心で田畑が広がっている。土砂災害警戒区域等に指定されている箇所がないため崖崩れの危険性は低い。

【留意事項等】

- 自主防災組織はどのような活動を行うか考え、年間の活動計画を立てることが大切である。主な活動内容は自主防災訓練の実施、市の防災訓練の参加等があるが、その活動計画の中に地域の避難路等の安全確認を組み入れる。
- 地震対策としては、昭和56年5月末以前に着工された住宅やアパートは耐震性が低い可能性があるため、耐震補強工事を行う。
- 室内の地震対策としては、家具に転倒防止器具を取付け固定することや、ガラスが割れても飛散しない防止フィルムをガラス面に貼る。
- 避難時はヘルメットや頭巾等（ない場合は手荷物やカバン）で頭を保護し、あらかじめ準備した災害用備蓄品を持って履きなれた運動靴で迅速に避難する。

ハザードマップ



凡例

-  一次避難所
-  二次避難所
-  避難場所
-  防災行政無線屋外スピーカー
-  市役所
-  消防署
-  病院
-  警察署
-  雨量観測所
-  国道・主要地方道